

報告事項

- 第41期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第41期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。
なお、連結計算書類、計算書類の開示は当社ホームページ(<http://www.creo.co.jp>)に掲載させていただきます。

決議事項

議案 取締役6名選任の件

本件は、原案通り承認可決され、取締役に阿南祐治、生駒進、柿崎淳一、上野亨4名が再任、大屋守弘、大矢俊樹2名が新任され、それぞれ就任いたしました。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2014年3月期の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

わが国経済は、緩やかな回復基調が続いていますが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられております。そして、海外景気の下振れが、引き続き景気を下押しするリスクとなっており、雇用・所得環境の先行きも不透明感が残っている状況であります。

当業界におきましても、顧客の情報化投資を抑制する動きに下げ止まりは見えるものの、受注環境は上向き傾向とはならず、引続き厳しい状況下にあります。

このような状況の中、当社グループは2011年4月1日付の当社持株会社化および会社分割により、事業ごとの責任と権限の明確化、スピード経営・自主独立経営の徹底、各業種・業態に最適な経営体制の確立、変化に対応出来る柔軟な経営体制の確立を実現し、より強固な経営基盤の確立並びに成長促進を目指しております。

なお、当連結会計年度における、当社グループの状況は、売上は前期より微増となりましたが、営業利益、経常利益、当期純利益に関しては、クレオマーケティング事業における、不採算プロジェクト対応が長引いたため、前期より大幅に減少しております。

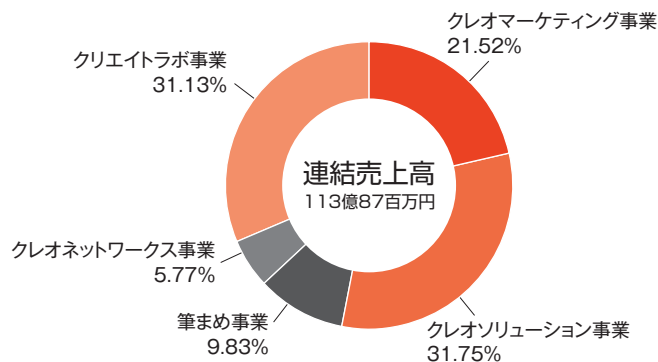
以上の結果、売上高113億87百万円(前期比3.1%増)、営業利益2億59百万円(前期比40.2%減)、経常利益2億74百万円(前期比37.5%減)、当期純利益は44百万円(前期比87.6%減)となりました。

2015年3月期も、景気の持ち直し傾向が見えてきておりますが、消費税率引上げの影響や海外景気の下振れ懸念等、不安定要素も多く引き続き予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような環境の下、当社グループはスピード感を持った経営体制のもと、各グループ会社の強みを活かしたサービスに磨きをかけ、生産性と収益力の向上に努めてまいります。

2014年6月

代表取締役社長
阿南 祐治



クレオマーケティング事業

ZeeM/CBMS製品等の基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供

前期に発生した不採算プロジェクトの影響が今期にも長引いた結果、機会損失ならびに製品維持メンテナンス費用等が想定以上となった事が大きな要因となり、売上は微減、利益は大幅減となりました。

その結果、売上高は24億50百万円(前期比5.3%減)、営業損失37百万円(前期は営業利益44百万円)となりました。

クレオソリューション事業

システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発

既存顧客との関係強化による受注増、教育・組織・環境を主とした人財投資、継続的なトラブルプロジェクト防止を徹底した結果、前期より売上・利益共に堅調に増加となりました。

その結果、売上高は36億15百万円(前期比7.9%増)、営業利益2億1百万円(前期比10.1%増)となりました。

筆まめ事業

はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の企画・開発・販売

主力製品である、2013年9月に発売した毛筆ソフト「筆まめVer.24」製品の市場縮小の影響等により、売上・利益ともに前期を下回りました。

その結果、売上高は11億19百万円(前期比6.5%減)、営業利益40百万円(前期比65.9%減)となりました。

クレオネットワークス事業

ICT基盤サービスプラットフォームとメディアプラットフォームの提供

ビジネス基盤サービス「SmartStage」を中心としたサービス展開が堅調に進み、売上は微増となりましたが、利益に関しては、継続的な開発投資に伴うソフトウェア償却負担増による売上原価の増加及び体制強化のための人員増強に伴う人件費等の販売費及び一般管理費の増加などにより、前期を下回りました。

その結果、売上高は6億56百万円(前期比5.7%増)、営業利益5百万円(前期比88.0%減)となりました。

クリエイトラボ事業

ヘルプデスクなどを中心としたサポート&サービス及び教育の受託

サービス品質の向上、既存顧客および社内のコミュニケーション強化に努めた結果、商談数が増加し売上は増加、利益は徹底したコスト削減と一部事業売却に係る利益貢献により大幅な増加となりました。

その結果、売上高は35億44百万円(前期比7.8%増)、営業利益1億21百万円(前期比38.2%増)となりました。

TOPICS

2014年4月より阿南新社長就任

2014年4月1日付けで阿南 祐治が当社代表取締役社長に就任しております。今回、阿南が社長に就任することにより、当社グループの更なる業績向上ならびに、当社を中心としたグループの連携強化を図ります。



創業40周年の御礼

当社は2014年3月22日に創業40周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と改めて心よりお礼申し上げます。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 ジャスダック市場
公告の方法	電子公告の方法により行う。 公告掲載URL http://www.creo.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- ご注意
 - 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

株式会社クレオ

〒108-0075
東京都港区港南四丁目1番8号
TEL.03-5769-3640
FAX.03-5769-3629

